

テーマ

～病理解剖の基本を学ぼう～

主催 病理検査研究班

実施日時：平成31年4月19日（金）19時00分～21時00分

会場：浦和コミュニティーセンター 第13集会室 点数：専門教科ー20点

講演1：『解剖室の設備設計に関して』

講師：赤塚 朱美（サクラファインテックジャパン株式会社営業推進部セールスサポートグループ）

講演2：「臨床検査技師の業務（病理解剖の介助）」

講師：小瀬川 順幸（自治医科大学附属病院 病理診断部）

参加人数：会員74名（非会員を含む）

出席した研究班班員：岡村卓哉 三鍋慎也 細沼佑介 高橋俊介 金泉恵美子
小島朋子 関口久男 今村尚貴 森田繁 荻真里子

研修内容の概要・感想など

今回の研修会は解剖の基礎について二人の講師の方に講演して頂いた。日本病理学会の剖検輯報のデータベース（1974～2016年）で見ると、ピーク時の1985年の約4万件から2015年の約1.1万件へと病理解剖数の減少は明らかである。

講演1は解剖室の設備設計に関して、設計段階・機器選定・法規制の視点から講演して頂いた。設計段階ではゾーニング・換気基準・排水・洗浄などについて、機器選定では解剖台や切り出し台などのプッシュプル型と局所排気装置の相違点や機器使用上の注意点について、そして最後に法規制に関して、特定化学物質障害予防規則（特化則）改正によるホルムアルデヒドの作業環境規制などを講演された。

講演2は臨床検査技師の解剖介助について、死体解剖の種類や法律・病理解剖の採取方法の種類などを説明された後に、具体的な各々の臓器の採取方法を動画にて解説された。

解剖数の減少が叫ばれる中で、今回の研修を解剖介助技術の維持、継承、新人教育などに役立てて頂きたい。

（文責：荻 真里子）